

金沢支援学校不祥事ゼロプログラム(令和8～9年度)

金沢支援学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事防止ゼロプログラムを定める。

1 会議の設置

教職員による不祥事の発生を未然に防止するための実効性のある対策や対応を図ることを目的として、神奈川県立金沢支援学校不祥事防止会議を設置する。

2 取組の方針

教職員一人ひとりが同僚性を高める取組を通じて「自分が金沢支援学校を動かしている」「事故不祥事は未然に防ぐ」という意識を持って、安心・安全な学校、教職員が連携し高め合うという学校文化・風土を醸成していく。

3 目標及び行動計画

	取組課題	目 標	行 動 計 画
1	法令遵守意識の向上(法令の遵守、服務規律の徹底)【必須】	・公務外であっても、法令遵守の意識を持ち、公務員・教員としての自覚ある行動をする。	・法令に基づく義務に加え、社会規範を確認し、適宜情報提供や注意喚起を行う。 ・啓発資料や事故不祥事事例を取り上げ、法令遵守意識を高める。
2	職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ等)の防止【必須】	・相手や周囲の方の気持ちを尊重しつつ、自分の意見を素直に主張できる働きやすい職場環境を作る。	・経験の浅い職員を中心に有機的なコミュニケーションを実践し、風通しよく相談しやすい環境づくりを行う。 ・事例や啓発資料を活用して研修を行い、教職員の人権意識を高める。
3	児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止【必須】	・職員一人ひとりが未然防止に向けて当事者意識を持ち、決められたルールを遵守し行動する。	・管理職や総括教諭が中心となって、指導場面を日常的に巡視する。 ・授業参観や学校見学等で「開かれた学校」を実践し、事故防止に努める。
4	体罰・不適切な指導の防止【必須】	・児童・生徒に対する人権意識の向上を図る。 ・教職員の特別支援教育の専門性の向上を図る。	・指導においては複数の教員で対応し、密室状態にならない環境を作る。 ・児童・生徒の人権を尊重した呼称をはじめとした言葉遣い、適切な身体接触等について、同僚性を発揮しながら相互に注意し合う環境づくりを進める。 ・研修やチームティーチングでの振り返りにより互いに専門性の向上を図る。
5	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止【必須】	・個別教育計画や入選関係資料、進路関係書類等の作成、回議、配付、回収、保管を適切に行う。	・資料作成方法について、担当部署がルールを示し、部門・学部等で共通理解し、随時注意喚起を図る。 ・作業中の保管、印刷後の管理、誤配付がないように複数人で点検し、作業を進める。
6	個人情報管理、情報セキュリティ対策	・個人情報の適正な管理と運用により、信頼性の高い業務の遂行を図る。	・サーバー及び電子データの定期的な点検管理を行う。 ・個人情報(データや書面)の適正な管理・運用と環境整備を行う。

4 実施、検証

* 検証機関…不祥事防止会議、学部・グループ会、日々の振り返りの実施

* 中間検証…10月(各項目の実施状況の確認と意見交換、必要に応じて計画の見直しを実施)

* 最終検証…3月(実施結果まとめ)

5 報告

* 作成した「不祥事ゼロプログラム」及び「不祥事ゼロプログラム実施結果」を学校ホームページに掲載する。